

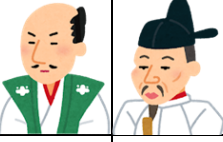



日本の貿易史

時代	貿易名	相手	中心人物	貿易港	貿易品目		備考
					輸出	輸入	
平安時代後期～鎌倉時代中期	日宋貿易	宋 (中国)	平清盛 	大輪田泊 (神戸市)	硫黄 刀剣 漆器 金 砂金	宋銭(銅銭) 絹織物 陶磁器	<ul style="list-style-type: none"> 日本国内の銭貨の供給が不足していたため、宋銭を輸入して流通させた 宋銭は日本国内で広く流通した
室町時代～江戸時代	日明貿易 (勘合貿易)	明 (中国)	足利義満 	博多 堺	硫黄 銅 刀剣	明銭 生糸 絹織物 陶磁器	<ul style="list-style-type: none"> 永楽通宝などの明銭は大量に輸入されて日本国内で使われた 倭寇の取り締まりのため、勘合を用いた 朝貢貿易
室町時代～江戸時代 17世紀前半	南蛮貿易	ポルトガル スペイン	織田信長・豊臣秀吉 	平戸 長崎 堺	銀 硫黄 刀剣	鉄砲 生糸 火薬 絹織物 時計 ガラス製品	<ul style="list-style-type: none"> 南蛮人…ポルトガル人・スペイン人を指す キリスト教の布教とともに進化したため、日本に多くのキリスト教徒が生まれた 石見銀山 (島根県)、生野銀山 (兵庫県) の銀を輸出 1639年、ポルトガル船の来航禁止 (鎖国完成)
江戸時代 17世紀前半	朱印船貿易	ルソン シャム カンボジア	徳川家康 	平戸 長崎 堺	銀 銅 鉄 刀 硫黄	生糸 絹織物 鹿皮	<ul style="list-style-type: none"> ルソン(フィリピン)、シャム(タイ)、カンボジア 東南アジアに日本町ができる 朱印状とは赤い印鑑が押された貿易の許可証のこと

★鎖国

江戸幕府はキリスト教を取り締まるため、貿易を制限し、日本人が外国へ行ったりすることを禁止した。鎖国下では、原則として外国との貿易や交流は幕府によって制限されたが、外部と交流するための「4つの窓口」が開かれた。

長崎	幕府の直轄。オランダと中国(清)のみが幕府との貿易を許された(キリスト教の布教に関係がない国だったから)
対馬藩	朝鮮通信使が江戸幕府との外交を行う際、対馬藩が仲介役を務めた
薩摩藩	薩摩藩の島津氏が琉球王国(沖縄)と交易を行った
松前藩	松前藩が蝦夷地のアイヌとの交易を独占した→一方的に不利な条件を押し付けることが多く、アイヌの反発を招き、シャクシャインの戦い(1669年)などが発生

1858年以降 日米修好通商条約後	アメリカ イギリスなど	横浜・長崎 函館・神戸 新潟	生糸 お茶	綿織物 毛織物	生糸は幕末までは清からの輸入が中心だったが、国内生産が発展し、輸出品へと変化した
----------------------	----------------	----------------------	----------	------------	--